

(3) 安否確認訓練

1 日時

11月6日(金) 8:45~12:15 (1~4校時)

2 場所

長町中学校体育館 各地区 (12地区)

3 ねらい

非常時に地域の中で、進んで活躍することのできる力を育てる。

→ 学年活動のねらい

- ① 自分が住んでいる地域の実情を知るとともに、地域の方々とふれあう。
- ② 地域の中で自分が果たさなければならない役割について考える。
- ③ 地域の一員として活動しようとする意欲を持つ。

4 協力団体

- ① 仙台市社会福祉協議会 太白事務所
- ② 各地区民生委員 (計54名参加)
 - ・ 鹿野地区民生委員児童委員協議会 会長 他18名
 - ・ 長町第1地区民生委員児童委員協議会 会長 他14名
 - ・ 長町第2地区民生委員児童委員協議会 会長 他22名

5 内容



今年度で3回目を迎えた取組である。今年度も、長町中学校区の民生委員の方々の全面協力のもと、1学年生徒の居住地域を原則とした安否確認訓練を行った。この訓練にあたり、3回ほど事前協議を行い、当日の活動に向けて事前準備を進めた。

この訓練は、災害時に生徒の居住地区の一人暮らしの方々の安否確認をすることを前提とした訓練



ではない。しかし、生徒にとっては、居住区域の実態を知る場となり、また、民生委員の方々は担当地区の生徒と交流を持つきっかけとなることで得られるものは大きい。まさに、地域と生徒が顔と顔とで繋がる関係づくりができる取組になることが期待できるものである。今年度は、鹿野地区にできた鹿野復興住宅にも生徒たちは足を運んだ。

(1) 開会行事（出発前の民生委員との打ち合わせ）



体育館での開会行事の様子。民生委員の方々と1学年の生徒が初めて顔を合わせた。学年主任や民生委員の会長より挨拶や注意事項を全体で確認した。

全体での会の後、各地区ごとに分かれ、さらに、班ごとに担当の民生委員の方々と顔合わせを行った。ここで、自己紹介や訪問先のことの事前打ち合わせを行い、学校を出発した。



(2) 出発



民生委員の方に引率され、各班ごとに学校を出発した。班の構成も、民生委員の方に生徒の居住地からと担当民生委員を含めた班編制を行っていただいた。

民生委員の方の案内のもと、訪問先に向かった。訪問先に向かう途中の何気ない会話が生徒と民生委員の距離を縮めた。



(3) 訪問



一人暮らしのご老人宅など民生委員の方と訪問した。担当した民生委員の方に訪問の承諾を事前にとっていただき、当日を迎え、班によっては7～8件回ったところもあった。

生徒たちは、事前に質問も考えていたが実際に訪問した際には思うように質問ができず苦戦した。核家族が進む中、ご老人との会話の仕方など、学ぶものも多かった。



(4) 閉会行事



訪問終了後、各班ごと民生委員の方と一緒にまとめ学習を行い、各地区の代表が訓練で学んだことなどを発表し、訓練で得たことや感じたことなどを共有した。

民生委員の方々を代表して、会長さんから訓練を振り返って、感想をいただいた。生徒たちは、自分の居住地で活躍している方々と大切な交流を深めることができた。

